

小河原素山 （素山、素山） 歌人。明治二十四年十月七日長野縣生れ、昭和五年十一月十一日歿（八九二—一九三〇）。本名寛香 （いんこう）。松本中學校を病のたゆ中退、その後小鶴校教員。大正五年のちの地元農業協同組合の母胎となる組織を同志と創設。明治末年岩淵要、世良田優子、山浦實一などと同輩誌「落葉集」を作る。また大田水徳選の信毎歌壇に出歌、大田（若山）喜志子、山田（今井）邦子等有力新進と名を列ねた。四十四年水徳主宰「同人」が創刊せられて参加すると、四歳で廢刊。前年創刊の「創作」に轉じ、爾來若山牧水に師事した。歿後二十二年若山喜志子書による素山歌碑が地元に建立せられた（あと引の山といふ山皆晴れともひるまじびこき松風の音）。

歿後二十二年「小河原素山歌集」（素山歌集刊行会編、昭和二十八年十一月十一日）長野・小河原素山歌集刊行会）出版。

